



ニッポン見聞録

Jeans

具志 アンデルソン (24)
(ブラジル)

日本には様々な国の人
が生活していますが、誰
もが日本語を話せるわけ
ではありません。日本語
ができず、困ったり差別
されたりしている人は多
いでしょう。日本語しか
できないあなたが、ブラ
ジルに行ったときのこと
を想像してください。不
安なく生活できますか。

日系3世の僕は、10歳
のときに来日しました。
日本語は全くできません
でした。今、自分の経験
をもとに、三重県内の小
中学校を回り、日本語を
必要とする子どもの指導
をしています。言葉がで
きず、いじめられた経験
を日本の生徒に話すこと
もあります。ある生徒は
「僕は外国人を避けてい
た。僕らとは違う存在の
ように思っていたが、同

日本語が必要な子らのために

じなんだ。これからいつ
外国籍の子が転校してく
るかもしれない。言葉が
違うだけで、中身はみん
な同じ人間だ。もう差別
はしません。自分もされ
たらいやだから」という
感想を寄せました。感想
文は何十人分もありまし
たが、10人分しか読めま
せんでした。涙が止まら
なかったのです。

来日15年目になります。
日本人が信用でき
ず、いやなことがほとん
どでした。でも少しでし
たが素晴らしい感動もあ
りました。今は、日本を
心の底から愛していま
す。国際理解が深まるよ
うに、また日本語を必要
とする子どもに明るい未
来を与えられるようにと
思い、活動しています。
(国際化対応教育指導員)